



株式会社ランシステム



2025年6月24日

各位

会社名 株式会社ランシステム
代表者役職氏名 代表取締役社長 日 高 大 輔
(コード番号:3326)

問い合わせ先 常務取締役 面 高 英 雄
T E L 0 4 5 - 5 9 4 - 6 4 1 1 (代)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について(改善期間入り)

当社は、2022年5月23日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2025年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2025年3月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」について基準を満たしていません。当社は、この項目について、上場維持基準を充たすために各種の取組みを進めて参ります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	3,248	10,219	5.2	49.3
当社の状況 (2025年3月末時点)	4,148	11,538	6.0	26.3
上場維持基準	400	2,000	10.0	25.0
計画書に記載の項目	—	—	○	—
計画期間	—	—	2027年3月末	—
目標数値 (2027年3月末)	4,000	13,150	10.5	30.0

※当社の状況は、東京証券取引所が移行基準日時点及び2025年3月末時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価(2024年4月～2025年3月)

(1) 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

当社は、今後スタンダード市場における上場維持基準を維持することを目指し、持続的な成長と企業価値の向上に資するための事業活動、資本政策を実施していくことを基本方針として、流通株式数の増加と時価総額の維持向上を図り、2027年3月期までに上場維持基準への適合を目指して参ります。

(2) 上場維持基準の適合に向けた取組の進捗状況

当社グループは、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」チェーン店舗の運営をメインにしている『エンターテインメント事業』と、リアル店舗運営で培ったノウハウを活かした『システム事業』の2つの事業を柱に運営しております。

エンターテインメント事業においては、一時期の非常に厳しい経営環境から脱却し、不採算店舗の閉店により売上高は減少しておりますが、利益率は大きく改善されました。システム事業においては、各種システム等の保守、管理業務や自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート

業務により安定した収益をあげているほか、AOKI ホールディングスのグループ会社が展開する店舗への省人化システム、P C 関連部材等の導入により収益をあげております。この結果、前期に引き続き 2025 年 3 月期も黒字経営を継続することができ、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載も解消することができました。さらに、2025 年 3 月期より株主優待制度を再開し、若干ではございますが株主に対する利益還元ができるようになりました。

このような状況のおかげで、株価は一時期の低迷した状況から上昇傾向になっております。また、当社株式を保有している取引先等へ当社株式の市場売却を依頼しており、2025 年 3 月末時点での流通株式比率は 26.3%（2024 年 3 月末時点は 24.0%）となり、上場維持基準を満たしております。

3. 上場維持基準の適合に向けた今後の課題と取組内容

当社の業績は、2020 年度より 4 期に渡って営業損失及び経常損失並びに親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、かかる業績不振によって株価の低迷を招き、流通株式時価総額の上場維持基準を充たしていない状況に至っているものと認識しております。2024 年 3 月期より 2 期連続で黒字経営を達成し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載も解消いたしましたが、株価の上昇は一時的なものであり、依然として流通株式時価総額 10 億円という目標には到達しておりません。このような状況の中、当社の上場維持基準の適合に向けた今後の課題と取組内容は以下のとおりとなります。

①成長戦略

2025 年 3 月期のシステム事業では、人員の増員・育成を進め、様々な協力企業様とパートナーシップを結び、事業規模を拡大させる準備を整えてまいりました。今後はエンターテインメント事業で安定した利益をあげつつ、システム事業の事業規模を拡大させることで、利益の最大化と企業価値の向上を図ってまいります。

②IR 活動の強化

投資家に当社の事業内容や戦略等をより深く理解いただき、当社株式への投資を検討いただけるよう、IR 活動の充実を図るとともに、さらなる企業認知度の向上に努めてまいります。

③株主還元の充実

株主還元の更なる充実のため、株主優待の年 2 回の配布、長期保有株主への特典及び非売品等の特殊優待の配布等、様々な株主優待を検討しております。株主還元をより一層充実させ、株価の向上に努めてまいります。

④流通株式比率の向上

取引先等による当社株式の市場売却を引き続き依頼し、流通株式比率の向上にも注力してまいります。

以上の施策を行い、2027 年 3 月期までに流通株式時価総額 1,050 百万円、流通株式比率 30.0% 以上を目標として上場維持基準の適合をすべく尽力して参ります。

以上